



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 54 号
令和 3年12月23日

良いお年をお迎えください

校長 古市 直彦

いよいよ明日から冬休みが始まります。テレビ放送で行った本日の全校集会の中では、子どもたちに次のようなメッセージを送りました。

今日で、後期前半の学校生活が終わります。緊急事態宣言が解除され、少しだけ普通の学校生活に近づいたものの、まだまだ油断できず、緊張した学校生活が続きました。学年毎の行事や部活動の新人戦は実施できても、学校全体で大きな行事を実施できないというガマンの生活でしたね。その中でも、生徒の皆さんは、本当によくがんばってくれたと思います。ありがとう。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いているようにも感じますが、新しいオミクロン株の感染力の強さも心配されています。インフルエンザの流行も予想できる季節でもあります。基本的な予防策は継続してくださいね。明日からの冬休み期間中は、いろいろな誘惑があるかもしれませんが、一人一人の判断とそれに基づいた行動が求められるわけです。しっかりと状況を見極めて、「どうしたいか…」ではなく、「自分はどうするべきか」に気付き、生かすようにしてほしいと思っています。きっと、皆さんなら大丈夫だとは思っていますが。

さて、終わらないコロナ禍の中、「一番大切なものって何だろう」と考える機会が、最近何度もありました。「冬休みのしおり」では、「大切なもの」という合唱曲の歌詞を紹介し、私が皆さんに大切にしてほしいと思っていることを予想してもらったり、皆さん自身が大切にしたいものを考えてもらったりしました。

今回も、全員分ではありませんでしたが、しおりを見せてもらいました。

「友だち」「仲間」「絆」「家族」「時間」「希望」「笑顔」「優しさ」「お金」…等々、いろいろなものを書いてくれていました。

どれも皆、大切なものですが、私が一番皆さんに大切にしてもらいたいもの…。

多くの人がしおりに書いてくれていましたが、それは、「いのち」です。

夏休み前の全校集会でも同じような話をしましたので、覚えてくれていた人もいたようです。

私は今年、実の母を亡くしました。92歳までがんばってくれていましたので、それなりの覚悟はしていましたが、やはり身内が亡くなるというのは大変なショックでした。また、コロナや交通事故、自然災害などで罪のない多くの方が亡くなったという報道も耳にしました。11月の下旬には、中学校の校舎内で、生徒が同級生を刺し死亡させてしまうという痛ましい事件もありました。

その中で、やはり「いのちの尊さ」を痛感し、ぜひ、皆さんにも「いのち」を大切にしてもらいたいと思ったのです。

お金では絶対に買えないものですし、サンタさんがプレゼントしてくれるものでもありません。

ひとつしかない「いのち」。 かけがえのない「いのち」。

自分の「いのち」はもちろんですが、まわりの人の「いのち」も大切にしていきたいですね。

そして、「いのち」と同じくらい大切にしてほしいものが、もう一つあります。



それは、皆さんの「みらい」です。

まあ、「いのち」がなくなってしまうと、皆さんの「みらい」も消えてしまいますので、同じような意味で考えることもできますが、「今」をいい加減に生きてしまうと、それだけで、皆さんの「みらい」を棒に振ってしまうかもしれません。「どうなってもいいや」なんて考え方はもってのほかです。先生方も、皆さんの「みらい」を守るために、あえて厳しいことを言うこともありますし、難しいハードルを設定することもあります。しっかりと、乗り越えていってくださいね。

特に、3年生は、この冬休み、自分の希望する「みらい」の実現に向けた、今までに無い勝負の冬休みになります。体調をくずしては元も子もありませんが、どこまで頑張れるか…。ぜひ、挑戦してみてください。応援しています。

それでは、よい冬休みをお過ごしください。2週間の冬休み明け、また皆さんの笑顔に会えることを楽しみにしています。



冬休み中の過ごし方の具体的な注意点に関しましては、「冬休みのしおり」を配布し、指導しています。ぜひ、保護者の皆様もご覧になり、ご家庭でも話題にいただけたら幸いです。

4月からの9ヶ月間、保護者の皆様には、本校の学校教育に際しまして、多大なるご理解とご協力をいただきました。この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。

健康にご留意され、良い年をお迎えいただきますようお祈り申し上げます。

新人戦について

剣道部の新人戦がありました。団体戦では1勝しましたが、ベスト8の強豪校には敗れてしまいました。バレーボール部は、千葉市ベスト16に入りました。また、ソフトテニス部は、冬季選抜大会で優勝しました。

これで、新人戦はひと段落ということになります。今回の新人戦では、「久しぶりに公式戦で勝てた」という部活動もいくつかありました。勝つことだけが部活動の目的ではありませんが、やはり励みにはなりますね。

これからも頑張れそうです。

新人戦で気付いた自分たちの課題を、今の時期にしっかりと克服できるように、日頃の練習に取り組んでいきましょう。春季大会や夏の総体に向けて重要なのは、今の時期の練習だと思います。



お知らせ

3年生の服装について

11月に保護者の皆様にお願いました学校評価アンケートでは、登下校時の服装に関して、「そろそろ制服に戻しては…」というご意見と「ジャージ登校を続けてほしい」という双方のご意見をいただいております。現在、新型コロナウイルスの感染拡大は小康状態にあるように感じますが、学校としましては、危機感を持ち続けております。「校報 若松中だより36号」でお知らせしたように、本校では「3月末までジャージ登校可」を継続しますが、3年生に関しては、受験に向けて、定期テストや出願の日、出願や受験(検査)の前日指導の日等、「制服登校の日」を段階的に設けていく予定です。詳しくは「3学年進路だより 羅針盤」でお知らせいたします。